|  |  |
| --- | --- |
| ID | 上部消化管内視鏡検査（胃カメラ） 説明書 |
| 氏名 |

─────────────────────────────────────────

医師はあなたの病状と本検査の必要性、方法、偶発症などについて次のように説明を行いました。

* **検査、治療を受ける前に説明書や予約票を必ずお読み下さい**。
* **検査、治療を受ける上で、ご家族も充分に理解されていることが望ましいため、必ず説明書や**

**予約票、検査説明動画などをご家族にも供覧してもらい、ご了承いただくことをお願いします。**

ご不明な点がございましたら、一般外来もしくは内視鏡センターにお問い合わせ下さい。

**【 病状、検査の必要性 】**

上部消化管（食道・胃・十二指腸）にできる病気(炎症・潰瘍・ポリープ・がん・静脈瘤など)の発見や、

症状の原因を同定し、適切な治療方法を選択するために行います。

また、他の検査（血液検査、画像検査など）で異常を指摘された場合の追加検査としての役割もあります。

**【 検査の方法 】**

喉（もしくは鼻腔）に**キシロカインによる麻酔**を行います。鎮静薬をご希望の方はスタッフにお伝え下さい。

内視鏡を口（もしくは鼻）から挿入し、**5-10分程度**で食道・胃・十二指腸の一部を観察します**。**

* 病気(炎症・潰瘍・ポリープ・がん・静脈瘤など)が見つかった場合は、さらに時間がかかることもあります。
* 病気を詳細に観察するために、色素散布や色調を変えての拡大観察、粘膜の一部を採取（生検）し顕微鏡による診断（病理学的診断）を行うことがあります。
* **生検が行われた場合**には、追加の費用と**病理学的診断までに約1週間かかる**ことをご了承ください。
* 観察時に出血がある、誤飲された異物があるなどの場合は、そのまま内視鏡治療を行うことがあります。

**【 鎮静薬の使用について 】**

鎮静薬とは、痛み止め（鎮痛剤）や静脈（全身）麻酔薬とは違い、緊張を和らげ、ウトウトと眠くなる効果が

あり、抗不安薬や睡眠薬などに属する薬剤です。

* **鎮静薬を使用した場合、検査当日は車・バイク・自転車の運転が終日できなくなります。**
* 万が一、運転をしてしまい事故が発生した場合、当院は責任を負いかねます。

**【 偶発症（合併症）について 】**

内視鏡学会による第7回全国調査において、経口上部消化管内視鏡検査での偶発症は0.04％と報告されています。偶発症の度合いにより入院治療が必要となることもあります。

* **裂創（消化管の粘膜が傷つくこと）が最も多く、次いで出血や誤嚥、消化管穿孔（消化管に穴があくこと）**などがあります。
* 鎮静薬を使用した場合、**呼吸抑制や血圧低下**などの副作用があります。

その他のまれな偶発症、予測できない偶発症により、輸血や緊急手術などが必要になることがあり、重症化例では死亡報告もあります。

これらの**偶発症や副作用に対して細心の注意を払い、万一発生した場合にはその対応に尽力致します。ただし、その場合の費用は通常の保険診療となることはご了承ください。**

**【 内視鏡検査による生検と抗血栓薬（血をさらさらにする薬）について 】**

病理組織学的診断のための生検を行う際に、出血のリスクがあります。

抗血栓薬を内服していると、この出血が助長されることが予測されますが、

抗血栓薬の休薬は脳梗塞や心筋梗塞などの血栓塞栓症が生じる可能性があります。

『抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン』に準じて、基本は

抗血栓薬を休薬せずに生検を行いますが、内服内容によっては生検ができないこともあります。

**【 その他 】**

医学研究（治療内容の研究・学会発表など）で、治療の結果を個人が特定されないような形で、

発表させていただくことがあります。ご希望されない場合にはお申し出ください。

****内視鏡検査説明動画はホームページ上、もしくはこちらのQRコードから視聴できます。

スマートフォンのカメラで読み取り、再生してください。音声が流れますので、音量にご注意下さい。

ツカザキ病院　消化器内科

　　　　　　　　　内視鏡センター

2024年7月22日改訂